



2023 Business Report

第146期 年次報告書
(2022年12月1日~2023年11月30日)



HOTEL NEW GRAND

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
このたびの能登半島地震により被災された皆様に、心より
お見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興
をお祈り申し上げます。

第146期（2023年11月期）の年次報告書をお届け
するにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

代表取締役会長兼社長

原 信造



当事業年度のわが国経済は、長期化するウクライナ情勢、中国の景気減速、中東情勢の緊迫化など不安定な国際情勢を背景に、エネルギー・資源価格の世界的な高騰と物価高、円安進行に直面し、景気に下押し圧力がかかりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後は、行動制限撤廃等により社会経済活動の正常化が進み、個人消費の回復や企業収益の改善など、景気に持ち直しの動きが見られました。

ホテル業界においては、人流の回復に伴い、全国的にイベント等の復活や、国内外の旅行者急増で需要が回復し、概ねコロナ前と同等もしくは上回る水準まで回復基調となりました。一方で深刻な人手不足により、販売室数の制限や、料飲施設の短縮営業や休業設定など、営業面での調整や見直しを迫られる状況に陥り、ポストコロナを見据えた本格回復に繋げる経営対応が問われました。

このような状況下で当社は、収益面においては資材高騰による影響もありましたが、仕入コスト上昇分の価格転嫁を促進すると同時に、商品・サービスの付加価値向上に努め、収益基盤の安定とブランドの強化を図りました。また、深刻な人手不足の中で、客室清掃員不足等の影響もありましたが、客室売上を左右する単価設定については、レベニューマネジメントシステムの導入により、日々変動する市場で自社販売状況と競合他社の値動きを、人工知能技術を活用した需要予測から価格

を弾力的に変化させ最適化し、稼働を抑えつつも収益性の最大化を図りました。こうした施策により、客室販売単価及び客室売上高は過去最高値を更新することができました。

管理面では、労働力不足への対応策として、時宜にかなった会議の効率化で時間の無駄を圧縮するとともに、報告書や日報作成等の既存業務を極力簡素化させ省力化を図り、限られたリソースを有効活用できる環境を整備し、社員各々の活動時間を最大化しました。また、組織改革として、レストランリザーベーション課を新設し、各レストランの予約業務を集中管理するとともに、サービススタッフの負荷を軽減し、業務効率と生産性向上に繋げました。このほか、従業員への経済的支援不足が重大リスクに繋がる恐れがある点を踏まえ、人的資本経営の重要性を強く認識し、急激な物価上昇が従業員の生活に与える影響の緩和策として、役員を除く全従業員を対象とした生活支援一時金の支給や、従業員持株会制度の奨励金付与率の引上げなどを実施し、従業員の経済的自立と資産形成を支援いたしました。

以上のような取組みを行った結果、当事業年度の売上高は、5,372百万円（前事業年度比25.5%増）、営業利益は283百万円（前事業年度は385百万円の営業損失）、経常利益は257百万円（前事業年度は323百万円の経常損失）、当期純利益は393百万円（前事業年度は、349百万円の当期純損失）となり

ました。

なお、当社は2016年度より誠に不本意ながら無配となり、株主の皆様には大変ご迷惑をお掛けしてまいりましたが、収益の回復と財務体質の改善を努めた結果、当事業年度はお蔭様をもちまして復配することとなりました。今後とも格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ホテル主要3部門の宿泊・宴会・レストランの売上高は、次の結果となりました。

【宿泊部門】当事業年度は、客室清掃員等の労働力不足のため稼働を抑えつつも収益性の最大化に努めたため、客室稼働率については、コロナ前に及びませんでした。売上高と販売単価については、コロナ前を上回る水準となり、売上高1,630百万円（前事業年度比41.9%増）となりました。

【宴会部門】当事業年度は、婚礼宴会がコロナ前の水準を上回り、一般宴会は新型コロナウイルス感染症が5類移行後に急回復した結果、売上高は1,968百万円（同26.4%増）となりました。

【レストラン部門】当事業年度は、コロナ前を上回る売上高まで回復し、売上高は1,326百万円（同10.4%増）となりました。

～ 対処すべき課題 ～

今後の見通しにつきましては、ホテル業界は常態化する人手不足の対応に苦慮しながらも、需要回復によりしばらくは好業績が期待できるものと推察します。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の不安等、世界経済の不確実性による景気の下振れリスクが懸念され、当社を取巻く環境は、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このように刻々と変化する社会情勢と経営環境下で、当社は3年後の2027年に迎える開業100周年を見据え、さらなる事業

の拡大と持続的な企業価値の向上を目指し、サステナビリティ経営の加速と人的資本経営の推進により、課題解決に向けた取り組みを行ってまいります。

設備面では、本館正面玄関から歩道に張り出したキャノピーは、本館を象徴する重要なファサードですが柱脚部に腐食が見られるため、安全で耐久性を担保した新築建替えによる復元工事を進めるとともに、完成後は横浜市歴史的建造物認定の申請を行い、景観維持とクラシックホテルの付加価値向上に努めてまいります。

管理面では、人的資本経営を重視し、優秀な人材獲得と既存従業員への還元策として給与水準の整備を進めるとともに、働きやすい環境整備を目的に、本館隣接地に老朽化が進んでいる従業員棟（休憩・仮眠室、ロッカー室等）の建替えが間もなく完成予定で、3月初旬をめどに新従業員棟への移設を計画しております。

さらには、同建物の1階部分に新規事業となるホテルショップ「S.Weil by HOTEL NEW GRAND」を、4月下旬に開業予定で計画を進めております。変化の激しい時代の中で、社会情勢や消費トレンドを見極める重要性が一段と高まっておりますが、不易流行の精神をもって新分野への進出で多柱経営に取組み、変化に強い会社を目指してまいります。

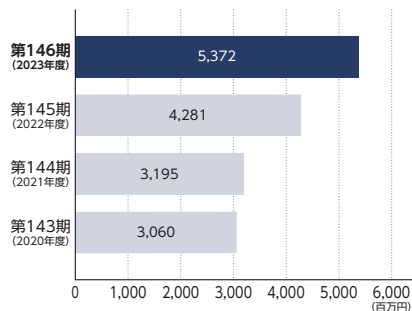
このほか、脱炭素による環境配慮とデジタル化による業務の効率化にも注力するとともに、社会から信頼される企業であり続けるために、人権尊重の取り組みやコンプライアンス推進活動の充実と浸透に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

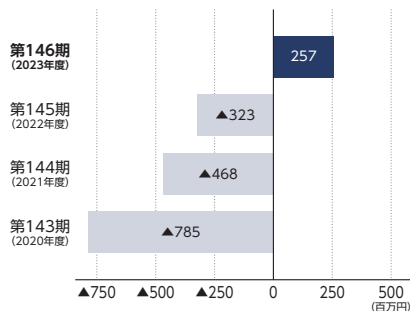
2024年2月

財務ハイライト

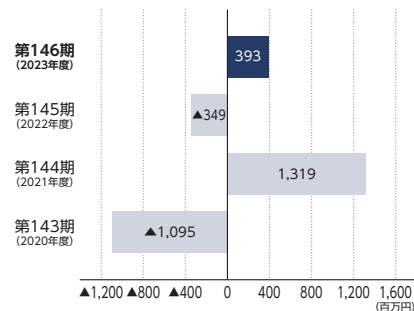
売上高



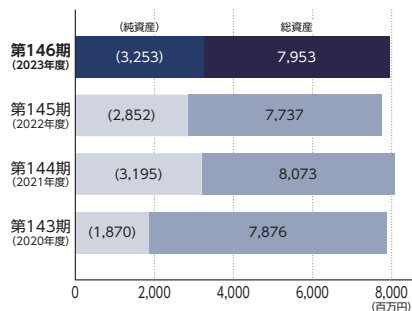
経常利益又は経常損失



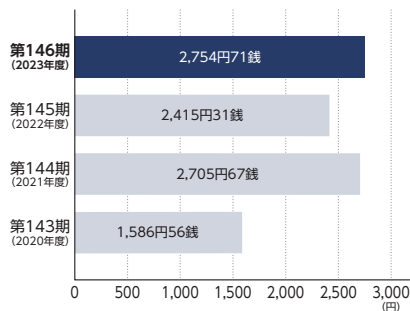
当期純利益又は当期純損失



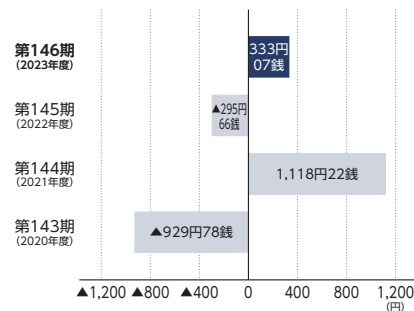
純資産・総資産



1株当たり純資産



1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失



数値目標

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
第147期 目標 (2024年11月期)	5,710百万円	245百万円	223百万円	371百万円	314円17銭
第146期 実績 (2023年11月期)	5,372百万円	283百万円	257百万円	393百万円	333円07銭
増減額 (増減率)	337百万円 (6.3%)	▲38百万円 (▲13.6%)	▲34百万円 (▲13.2%)	▲22百万円 (▲5.7%)	

会社の概況 (2023年11月30日現在)

商号	株式会社ホテル、ニューグランド (HOTEL NEWGRAND CO., LTD.)
設立	1926年 7月6日
開業	1927年12月1日
資本金	1億円
従業員数	304名 (内正社員外96名)

取締役の状況 (2024年2月22日現在)

1. 取締役 (監査等委員である取締役を除く)

代表取締役会長兼社長	原 信 造
常務取締役	岸 晴 記 (財務本部長)
社外取締役	上 野 孝
社外取締役	岡 崎 真 雄
社外取締役	川 本 守 彦
社外取締役	勝 治 雄
取締役	関 口 真 司 (総料理長)
取締役	山 本 修 二 (管理本部長)
社外取締役	山 崎 明
取締役	木 曾 博 文 (営業本部長総支配人)

2. 取締役 (監査等委員)

社外取締役	奥 津 勉 (監査等委員会委員長)
取締役	野 村 弘 光
社外取締役	佐々木 寛 志
社外取締役	宮 田 久 嗣
社外取締役	川 村 健 一

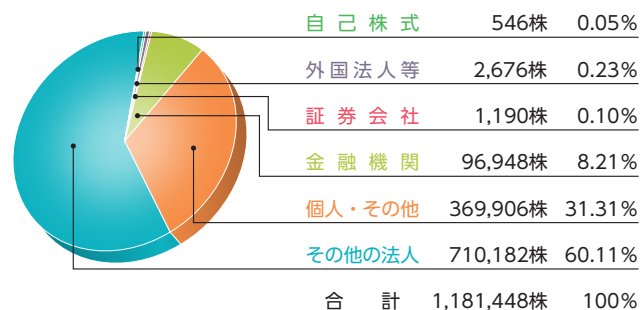
株式の状況 (2023年11月30日現在)

発行可能株式総数	4,600,000株
発行済株式総数	1,181,448株
株主数	1,014名
大株主 (上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
原 地 所 株 式 会 社	191,540株	16.22%
穠 田 誉 輝	57,600株	4.88%
株 式 会 社 横 浜 銀 行	55,172株	4.67%
清 水 建 設 株 式 会 社	47,000株	3.98%
東日本旅客鉄道株式会社	43,800株	3.71%
株 式 会 社 そ ご う ・ 西 武	38,000株	3.22%
原 信 造	37,165株	3.15%
上野グループホールディングス株式会社	34,031株	2.88%
麒麟麦酒株式会社	33,008株	2.80%
セコム株式会社	32,000株	2.71%

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式 (546株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



2024.4.29 Grand Open!

S.Weil (エスワイル) by HOTEL NEW GRAND

グランドメゾン山下公園1階に、ホテルニューグランド初のホテルショップがオープンします！

初代総料理長サリー・ワイルの功績と技術を継承しながら、
新たなトレンドとなるような手土産や食料品を取り揃えたショップを目指します。



S.Weil

by HOTEL NEW GRAND
SINCE 1927

「S.Weil (エスワイル)」とは、ホテルニューグランドの開業に合わせ来日した初代総料理長サリー・ワイルのこと。店名は、初代総料理長サリー・ワイルの弟子が作った洋菓子の名店「エスワイル」の名称を受け継ぎ、「S.Weil by HOTEL NEW GRAND」としました。

今までホテルで販売をしていたレトルト商品や、焼き菓子、パンなどに加え冷凍食品を販売する他、新たな客層をターゲットにした新商品については「S.Weil」ブランドで展開してまいります。



■サリー・ワイルについて

1897年スイス生まれ。1927年ホテルニューグランドの開業にあたりパリのホテルより招聘され、30歳の若さで初代総料理長に就任。本格的なフランス料理と独自のサービスを日本に持ち込み、メニューに「コック長はメニュー以外のいかなる料理にもご用命に応じます」と記し、お客様の要望に合わせて様々な料理を作って提供しました。1973年、勲五等瑞宝章を授かり、日本における「西洋料理の父」と呼ばれています。

■サリー・ワイルの代表作「ドリア」について

ある時、滞在していた銀行家から、「体調が良くないので、何かのど越しの良いものを」という要望を受け、サリー・ワイルが即興で創作した一皿がドリア。その時作ったのは、バターライスに海老のクリーム煮を乗せ、グラタンソースにチーズをかけてオーブンで焼いたもの。好評だったこの料理は、“Shrimp Doria”（海老と御飯の混合）として、レギュラーメニューになり、ホテルニューグランドの名物料理の一つになりました。

サリー・ワイルが来日していなければドリアは生まれなかったとし、来日した10月29日を「ドリアの日」として一般社団法人日本記念日協会より認定いただいております。

株主優待について

毎年11月末日の株主名簿に記録された株主の方を対象に、ご所有株式数と継続保有年数を基準にご優待をいたします。

「ホテル利用券」引換券の贈呈

ご所有株式数と継続保有年数に応じて発行します。ホテル利用券にお引換えされますと金券としてご利用できます。

株主コーヒー券の贈呈

ご所有株式数に応じて発行します。

宿泊料金10%割引 (100株以上)

当社に直接お電話でのご予約又は、当社公式ホームページからのご予約について販売価格より10%割引。

飲食料金10%割引 (100株以上)

館内レストランご飲食料金10%割引。

ご所有株式数		100株以上 500株未満	500株以上 1,000株未満	1,000株 以上
「ホテル利用券」 引換券の 発行額面	継続保有 3年未満	1,000円分	2,000円分	4,000円分
	継続保有 3年以上	2,000円分	4,000円分	8,000円分
株主コーヒー券		5枚	10枚	20枚



株主メモ

■事業年度 12月1日から11月30日まで

■定時株主総会 毎年2月に開催

■単元株式数 100株

■期末配当金受領株主確定日 11月30日

■中間配当金受領株主確定日 5月31日

■株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

■同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■公告掲載URL <https://www.hotel-newgrand.co.jp>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によること)
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

■証券コード 9720

■上場証券取引所 東京証券取引所 (スタンダード市場)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

- 2014年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について
2014年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315% (※) の源泉徴収税率が適用されます。
(※) 所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問合せください。
- 少額投資非課税口座 (NISA口座) における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関 (証券会社等) を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。
ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができますのでご注意ください。
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。



株式会社ホテル、ニューグランド

〒231-8520 神奈川県横浜市中区山下町10番地
<https://www.hotel-newgrand.co.jp>
TEL 045-681-1841

横浜市SDGs認証制度

